

くつきりと死者の鷺鼻冬の夜

野本 京

昭和五十八年十二月十六日揚田蒼生逝去。享年四十八。胃がんの闘病中、点滴のスタンドを引いて最期の句会に参加。蔵書や短冊を仲間に贈り「余命もし得たらば魯田にて逢はむ」とメッセージ。死の二日前、飯島晴子が面会。六十年に湘子の墓参を得、全句集刊行。

昭和五十九年作